

20国建第366号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様
(東北地方整備局経由)

福島県国見町長 佐藤



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福島県国見町

本年5月13日に閣議決定された「道路特定財源等に関する基本方針」は、今までの（問題点を含む）計画を全て包含するもので国民から支持されないのは当然ともいえます。

地球温暖化や地方と中央の格差など、根本のところの方針の問題があると考えられます。
本四架橋や東京湾に橋を架けるようなことは、もうやるべきではありません。
東京など一極集中につながることもやめるべきことではないでしょうか・・・

地方からどんどん大都市に人口が流出し、これに伴い、大都市で交通渋滞が起こっています、この渋滞を改善すると、また人口が大都市に集中し、地方が益々さびれていきます。

このようなことが日本の将来にとって本当に良いのでしょうか・・・？

地方によって、水も空気も食料も電気も作られています。地方が寂れて中央だけが生き残れることはないと思います。

中央や大都市への集中は抑制して、地方に投資すべき時にきていると考えます。
地方に住める、地方に人口が移動する施策と道路計画を作るべきだと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

福島県国見町

○現状

国見町には、国道４号線、東北自動車道路が通過し、国見サービスエリアと国見インターチェンジがある。

国道４号線は未だに片側一車線である。

県道は交通量が多いにもかかわらず、片側一車線で歩道のついてないところがほとんどである。

町道は拡幅改良舗装工事の未整備なところが未だ残っている。

町道にかかる橋梁が老朽化しつつあり今後架け替えの時期が来る。

○課題

国道４号線の４斜線化の早急な実施が望まれる。

通学路ともなっている県道の歩道設置が緊急の課題である。

地方交付税の削減などにより、道路に回す財源が不足している。

町道にかかる橋でも架け替えには相当の経費がかかり、今後の課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

福島県国見町

地域に住んでいても人間らしい生活を営むことが出来、働く場所が確保され、安心して地域の生活が出来ることにより、大都市への食料の生産や、山林を程よく管理することができることにより、水や空気、電気を都会に供給できることになる。

また、都市の人々が、地方に来て、自然を満喫したり農業や林業に触れ合うことにより、地方にとっても都市にとっても将来の人間存続の道が開かれてくる。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福島県国見町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上 地方土地方、地方と中央の交通ネットワーク	道の駅の設置 中央自動車道路や常磐自動車道路の早期開通	地域産業の振興と活性化につながる 一極集中ではなく地方も含めた均衡の取れた国土作り	